

令和3年度の取組

資料3

項目	番号	P(計画)	D(実行)	C(評価)	A(改善)	
					課題	今後の対策
発症前・予防	1	【健康長寿政策課】 (生活習慣の改善) ・健康づくりロメモ(30秒テレビ広報、年間105回)による栄養・運動・ストレス・喫煙・飲酒・血管病の重症化予防・高血圧等の啓発 ・高知家健康チャレンジ(減塩、野菜、運動、節酒、禁煙)による健康づくりの県民運動の展開	・健康づくりロメモによる啓発 栄養4回、運動6回、ストレス2回、禁煙3回、飲酒2回、血管病の重症化予防2回、高血圧3回(R3.9月末) ・11月からテレビCMや広報媒体、量販店や地域の関連団体と協働したプロモーション(高知家健康チャレンジ)を実施			
	2	【健康長寿政策課】 (生活習慣の改善) ・高知家健康パスポート事業による健康づくりの県民運動の展開	・高知家健康パスポート事業 健康パスポートアプリの改修による新たな生活様式への対応(アプリでポイント取得可能へ) 県広報誌やパンフレット等の広報資材を活用した事業の認知度向上とパスポート取得促進 アプリを活用したウォーキングイベントの開催(R2.10月、R3.1月の2回)			
	3	【健康長寿政策課】 (高血圧対策) ・推定塩分測定事業の実施 ・家庭血圧測定を勧めるため啓発 ・減塩プロジェクトによる減塩等の啓発 ・高血圧対策サポーター企業による高血圧の啓発 ・高知家健康チャレンジ～塩分マイナス1g～の普及啓発 (心不全対策) ・心不全予防の啓発	・29市町村で国保集団健診対象者に推定塩分測定事業を実施(通年) ・家庭血圧測定を勧めるための指導教材を作成し、医療機関、健診機関、市町村、薬局に配布(6月～7月) ・高血圧サポーター企業による高血圧予防の啓発(通年) ・減塩プロジェクト参加企業35社(スーパー、食品メーカー)による減塩の啓発や減塩商品の紹介などを展開(通年) ・心不全予防のチラシ、ポスターを作成し、医療機関及び薬局等に配布(9月)			
	4	【健康長寿政策課】 (特定健診等の受診率向上) ・市町村国保の40歳代前半、50歳、60歳をターゲットとした受診勧奨リーフレットの配布(7月) ・特定健診対象前世代の39歳をターゲットとした意識啓発リーフレットの配布(2月) ・特定健診情報提供事業を実施 ・特定保健指導従事者のスキルアップを図るため研修会を開催(6月初任者編、8月经験者編Ⅰ、12月经験者編Ⅱの3回)	・市町村国保の40歳代前半、50歳、60歳代前半をターゲットとした受診勧奨リーフレットの配布(7月) ・特定保健指導従事者のスキルアップを図るため研修会を開催(6月初任者編)			
	5	【健康長寿政策課】 (ハイリスク者対策) ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムによる健診後未治療ハイリスク者及び治療中断者への医療機関の受診勧奨 ・血管病調整看護師の育成を県下全域で実施 ・高血圧、脂質異常の健診後未治療者・治療中断者への受診勧奨	・糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、健診後の未治療ハイリスク者及び治療中断者について医療機関への受診勧奨を実施(通年) ・新たに6つのモデル基幹病院(高知大学医学部附属病院、高知医療センター、高知赤十字病院、近森病院、三愛病院、幡多けんみん病院)にて血管病調整看護師の育成を実施(委託:高知県立大学)。取組周知のための公開講座の開催(11/13予定) ・モデル4市町で、AIが予測した治療復帰確率と重症化傾向から4つのセグメントに分け、ナッジ理論を活用した通知による受診勧奨を実施(10月)			
救護搬送体制	6	【消防政策課・健康長寿政策課】 (住民啓発) ・救急車の適正な利用等について、様々な機会をとらえた啓発の実施 ・発症時の早期受診に関する県民啓発の実施	・ポスターの掲示に係る取組を継続 ・マスメディアを活用した心筋梗塞初期症状と早期受診に関する県民啓発実施(11月予定)			
	7	【消防政策課】 (人材育成) ・医療機関等が行う研修等について県が情報を集約し、周知	・高知県内の救急医療関係の研修や学会の開催情報を収集し、県内の消防本部及び救急医療機関へ情報提供 ・救急救命士の再教育に係る単位制の研修プログラムを認定			
急性期の医療提供体制	8	【健康長寿政策課】 (急性期の治療成績の向上) ・急性心筋梗塞治療センターの治療成績の公表 ・県民向け啓発の実施	・6病院へのR2年実績の報告依頼(8月) ・R2年治療成績のとりまとめ(9月) ・心血管疾患医療体制検討会議にて確認後、県ホームページで公表予定 ・高知大学、民間企業と連携した循環器疾患対策に係る啓発等の実施 ・全国と比較し年齢調整死亡率の高い急性心筋梗塞に焦点を当てた県民向け啓発の実施			
回復期～慢性期の医療提供体制	9	【健康長寿政策課】 (心不全対策) 高知大学に委託し、心不全対策推進事業を実施。 ・9つの基幹病院に心不全センター(相談窓口)を設置 ・9つの基幹病院を中心とした地域毎の勉強会の実施 ・心不全に関する公開講座の実施	・心不全連携の会の開催(R310月現在1回) ・心不全センター設置に向け、各病院において協議を実施し運用開始。 ・基幹病院において、地域毎の勉強会を実施 ・高知県版心不全手帳を活用した患者教育及び自己管理可能な患者への心不全ポイント自己管理用紙の導入			